



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 鈴茂器工株式会社

上場取引所 東

コード番号 6405 URL <http://www.suzumo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 美奈子

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 志賀 融

TEL 03-3993-1371

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日 2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	8,930	9.1	765	10.5	702	0.9	321	△31.4
2019年3月期	8,186	△10.2	692	△44.0	696	△43.7	468	△43.8

(注) 包括利益 2020年3月期 284百万円 (△16.6%) 2019年3月期 341百万円 (△58.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	49.85	—	2.8	5.2	8.6
2019年3月期	72.35	—	4.1	5.2	8.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	13,830	11,654	84.2	1,800.33
2019年3月期	13,431	11,482	85.5	1,772.84

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,641百万円 2019年3月期 11,482百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	660	△356	△275	6,603
2019年3月期	211	△192	△119	6,503

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	129	27.6	1.1
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	129	40.2	1.1
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00	—	—	—

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料11ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2020年3月期	6,480,000 株	2019年3月期	6,480,000 株
2020年3月期	13,762 株	2019年3月期	2,945 株
2020年3月期	6,453,121 株	2019年3月期	6,477,093 株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,835	7.5	573	9.9	622	9.8	301	△23.3
2019年3月期	7,285	△12.1	521	△54.7	566	△51.7	393	△51.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	46.72	—
2019年3月期	60.69	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	13,239	11,378	85.9	1,759.62
2019年3月期	12,834	11,275	87.9	1,740.80

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,378百万円 2019年3月期 11,275百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の個別業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。合理的な予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	12
4. その他	13
(1) 役員の変動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、第3四半期までは景気は緩やかな回復が持続していたものの、足元では新型コロナウイルス感染症の影響が顕著に見られる状況となっております。世界的な感染の拡大により、人の移動が制限され、経済活動が停滞し、世界の景気は全体的に失速しております。国内においては、インバウンド消費は大きく下振れし、輸出も世界的な需要減少により大きく後退しております。個人消費も外出の自粛等により、大幅な下振れが避けられない状況です。これらの事由から企業業績の悪化が見られ、これまで堅調に推移していた設備投資につきましては、慎重化の傾向が見られます。

このような環境の中、当連結会計年度の売上高は、89億30百万円（前連結会計年度比9.1%増）と前連結会計年度を上回る結果となりました。国内・海外別の売上高の内訳は、国内売上高が67億48百万円（同12.2%増）、海外売上高が21億82百万円（同0.4%増）となりました。国内売上高は、外食や小売業を中心とした既存顧客への小型機の入替および増設、新規開発大型機の販売が堅調に推移したほか、消費税増税前の駆け込み需要が想定を上回り、反動減の影響も少なく、第4四半期においては新型コロナウイルス感染症の影響が少なかったため、前連結会計年度を大きく上回る結果となりました。海外売上高は、北米地域における売上高が堅調に推移したものの、アジア地域における売上高が情勢不安や新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により前連結会計年度を下回り、前連結会計年度に比べ微増となりました。

当連結会計年度の国内海外別売上高

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	増減額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
国内	6,012	6,748	735	12.2%
海外	2,174	2,182	7	0.4%
合計	8,186	8,930	743	9.1%

当連結会計年度の営業利益は、売上原価および販売費及び一般管理費が前連結会計年度を上回ったものの、売上高の伸びが大きく、7億65百万円（前連結会計年度比10.5%増）と前連結会計年度を大きく上回る結果となりました。経常利益は、持分法適用関連会社であるBluefin Trading LLCの持分法による投資損失68百万円を営業外費用に計上したものの、7億2百万円（同0.9%増）と前連結会計年度を上回る結果となりました。

当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は、退任役員に対する特別功労金1億50百万円を特別損失に計上した結果、3億21百万円（前連結会計年度比31.4%減）となり、前連結会計年度を下回る結果となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは、当連結会計年度より、単一セグメントとなることから、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億98百万円増加し138億30百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1億54百万円、現金及び預金が1億円、建設仮勘定が76百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ2億26百万円増加し21億75百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億10百万円、未払消費税等が65百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億72百万円増加し116億54百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払により1億29百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益により3億21百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額75百万円等による資金の増加の結果、前連結会計年度末に比べ1億円増加し、66億3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少1億65百万円等による資金の減少はありましたが、税金等調整前当期純利益5億63百万円、減価償却費1億92百万円等による資金の増加の結果、6億60百万円の資金の増加（前連結会計年度比4億49百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、関連会社株式の取得による支出2億50百万円等による資金の減少の結果、3億56百万円の資金の減少（前連結会計年度比1億63百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払1億29百万円、自己株式の取得による支出1億22百万円等による資金の減少の結果、2億75百万円の資金の減少（前連結会計年度比1億56百万円の減少）となりました。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による世界的な消費の落ち込みや生産活動の停滞等により、世界経済が大きく減速することが懸念され、予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましても、国内外の外食・小売業・食品工場を中心とした取引先における設備投資計画の見直しや企業活動の停滞等により、足元の業績に影響を受け始めております。特に国内の回転寿司・レストラン・米飯ファストフード等の外食業態につきましては、今後、緊急事態宣言が解除された後も、需要の回復がどこまで進むかは不透明な状況です。また、海外においては、一部の地域において経済活動が再開しているものの、需要の回復は限定的であり、日本食を扱う外食や小売業の設備投資意欲も不透明な状況です。

このような状況の下、2021年3月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の業績に与える影響度やその期間が見通せず、業績予想の適正かつ合理的な見積りが非常に困難と判断し、現段階では未定とさせていただきます。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,503,270	6,603,707
受取手形及び売掛金	1,102,348	1,256,943
たな卸資産	1,866,377	1,808,445
その他	120,560	84,652
流動資産合計	9,592,556	9,753,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,238,149	3,195,686
減価償却累計額	△1,763,186	△1,809,392
建物及び構築物(純額)	1,474,962	1,386,293
機械装置及び運搬具	49,448	78,197
減価償却累計額	△38,164	△27,611
機械装置及び運搬具(純額)	11,283	50,586
工具、器具及び備品	1,488,944	1,585,725
減価償却累計額	△1,402,209	△1,423,493
工具、器具及び備品(純額)	86,734	162,231
土地	1,125,607	1,125,607
建設仮勘定	—	76,208
有形固定資産合計	2,698,588	2,800,927
無形固定資産	150,828	208,309
投資その他の資産		
投資有価証券	427,007	496,516
繰延税金資産	364,147	396,576
その他	208,446	182,637
貸倒引当金	△10,480	△8,680
投資その他の資産合計	989,121	1,067,049
固定資産合計	3,838,537	4,076,287
資産合計	13,431,094	13,830,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,376	244,255
未払金	154,022	192,788
未払費用	143,374	146,978
未払法人税等	31,472	141,609
未払消費税等	4,407	69,861
賞与引当金	163,264	168,906
その他	97,686	146,078
流動負債合計	939,604	1,110,478
固定負債		
繰延税金負債	865	777
役員退職慰労引当金	16,768	7,425
退職給付に係る負債	959,130	995,657
その他	31,950	60,721
固定負債合計	1,008,714	1,064,581
負債合計	1,948,318	2,175,060
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,418	1,154,418
資本剰余金	982,960	982,960
利益剰余金	9,387,360	9,606,827
自己株式	△3,544	△22,043
株主資本合計	11,521,193	11,722,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,612	72,215
為替換算調整勘定	4,638	△2,388
退職給付に係る調整累計額	△164,669	△150,657
その他の包括利益累計額合計	△38,418	△80,831
非支配株主持分	—	13,644
純資産合計	11,482,775	11,654,975
負債純資産合計	13,431,094	13,830,036

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,186,503	8,930,153
売上原価	4,267,130	4,685,386
売上総利益	3,919,372	4,244,767
販売費及び一般管理費	3,226,452	3,479,140
営業利益	692,920	765,627
営業外収益		
受取利息	1,265	1,363
受取配当金	2,371	2,795
受取手数料	1,207	935
受取保険金	897	1,430
その他	1,978	4,717
営業外収益合計	7,721	11,240
営業外費用		
手形売却損	179	30
売上割引	1,834	1,701
貸倒引当金繰入額	390	—
為替差損	2,184	1,348
持分法による投資損失	—	68,867
その他	38	2,635
営業外費用合計	4,626	74,583
経常利益	696,016	702,284
特別利益		
投資有価証券売却益	—	935
固定資産売却益	756	592
保険解約返戻金	—	33,739
特別利益合計	756	35,267
特別損失		
固定資産除却損	1,683	24,213
役員特別功労金	—	150,000
会員権評価損	800	—
電話加入権評価損	3,287	—
特別損失合計	5,770	174,213
税金等調整前当期純利益	691,002	563,337
法人税、住民税及び事業税	226,173	247,325
法人税等調整額	△3,791	△8,215
法人税等合計	222,381	239,110
当期純利益	468,620	324,226
非支配株主に帰属する当期純利益	—	2,546
親会社株主に帰属する当期純利益	468,620	321,680

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	468,620	324,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,497	△49,397
為替換算調整勘定	△5,742	△4,327
退職給付に係る調整額	△158,133	14,011
その他の包括利益合計	△127,379	△39,713
包括利益	341,241	284,513
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	341,241	281,927
非支配株主に係る包括利益	—	2,586

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,154,418	982,960	9,015,896	△3,339	11,149,935	85,115	10,380	△6,535	88,961	—	11,238,896
当期変動額											
剰余金の配当			△97,157		△97,157						△97,157
親会社株主に帰属する当期純利益			468,620		468,620						468,620
自己株式の取得				△205	△205						△205
自己株式の処分					—						—
連結範囲の変動					—						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	36,497	△5,742	△158,133	△127,379		△127,379
当期変動額合計	—	—	371,463	△205	371,257	36,497	△5,742	△158,133	△127,379	—	243,878
当期末残高	1,154,418	982,960	9,387,360	△3,544	11,521,193	121,612	4,638	△164,669	△38,418	—	11,482,775

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,154,418	982,960	9,387,360	△3,544	11,521,193	121,612	4,638	△164,669	△38,418	—	11,482,775
当期変動額											
剰余金の配当			△129,541		△129,541						△129,541
親会社株主に帰属する当期純利益			321,680		321,680						321,680
自己株式の取得				△122,359	△122,359						△122,359
自己株式の処分			△1,222	103,860	102,638						102,638
連結範囲の変動			28,550		28,550						28,550
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	△49,397	△7,027	14,011	△42,413	13,644	△28,768
当期変動額合計	—	—	219,467	△18,498	200,969	△49,397	△7,027	14,011	△42,413	13,644	172,200
当期末残高	1,154,418	982,960	9,606,827	△22,043	11,722,162	72,215	△2,388	△150,657	△80,831	13,644	11,654,975

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	691,002	563,337
減価償却費	157,761	192,410
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	390	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,909	5,642
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	73,476	56,722
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,400	△9,343
受取利息及び受取配当金	△3,637	△4,158
支払利息及び手形売却損	179	30
持分法による投資損益 (△は益)	—	68,867
有形固定資産売却損益 (△は益)	△756	△592
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△935
保険解約返戻金	—	△33,739
役員特別功労金	—	150,000
売上債権の増減額 (△は増加)	82,680	△135,272
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△262,490	99,246
仕入債務の増減額 (△は減少)	△54,987	△165,939
未払費用の増減額 (△は減少)	9,822	△407
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41,565	65,064
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△45,622	45,153
その他	△11,102	28,588
小計	599,459	924,677
利息及び配当金の受取額	3,722	4,158
手形売却に伴う支払額	△179	△30
役員特別功労金の支払額	—	△150,000
法人税等の還付額	—	26,810
法人税等の支払額	△391,508	△145,027
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,494	660,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,991	△6,189
投資有価証券の売却による収入	—	2,612
有形固定資産の取得による支出	△96,228	△162,932
有形固定資産の売却による収入	785	1,710
無形固定資産の取得による支出	△84,787	△78,559
関係会社株式の取得による支出	—	△250,509
貸付けによる支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	996	1,450
差入保証金の差入による支出	△1,110	△8,009
差入保証金の回収による収入	179	12,419
保険積立金の積立による支出	△8,294	△5,152
保険積立金の払戻による収入	—	148,795
会員権の売却による収入	1,535	—
その他	—	△2,083
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,916	△356,448

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△21,825	△23,995
配当金の支払額	△97,157	△129,541
自己株式の取得による支出	△205	△122,359
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,188	△275,896
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,662	△3,078
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△106,273	25,165
現金及び現金同等物の期首残高	6,609,543	6,503,270
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	75,271
現金及び現金同等物の期末残高	6,503,270	6,603,707

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<p>第2四半期連結会計期間において、当社仙台営業所の旧建物の取り壊しを決定したため、利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、取り壊し予定日までの期間で減価償却が完了するように耐用年数を変更しております。</p> <p>これにより、従来の方と比べて、当連結会計年度の減価償却費が23,068千円増加し、営業利益、経常利益が同額減少しておりますが、当連結会計年度に旧建物の取り壊しを完了したため、税金等調整前当期純利益には影響ありません。</p>

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当連結会計年度(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりです。

II 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、米飯加工機械関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、「米飯加工機械関連事業」「衛生資材関連事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より単一セグメントに変更しております。

この変更は、「衛生資材関連事業」の売上高及び利益の重要性が乏しく、また、当社グループの事業展開、経営管理体制、社内報告体制の実態などの観点から再検討した結果、当社グループの事業については一体とすることがより合理的であると判断したためであります。

この変更により、当社グループの報告セグメントは単一セグメントとなることから、前連結会計年度及び当連結会計年度のセグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,772.84円	1,800.33円
1株当たり当期純利益金額	72.35円	49.85円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	468,620	321,680
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	468,620	321,680
普通株式の期中平均株式数(株)	6,477,093	6,453,121

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動

①代表者の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動 (2020年6月26日付予定)

1. 新任取締役候補

取締役 橋本 泰

(注) 新任取締役候補者 橋本 泰氏は、社外取締役候補者であります。

2. 退任予定取締役

取締役 立木 成 (現 社外取締役)